

【事例2】

今、親友のアキコからチャットアプリで相談を受けています。同級生とケンカになってしまい、とても困っているみたいなんです。学校から帰ってきてからずっとチャットをしているのですが、まだまだ終わりそうにありません。夕食の時もメッセージが来たので、返事を打っていると、父が「食事中だぞ。



いいかげんにしないか。」と怒り出して、気まずい雰囲気になってしまいました。しばらく返事ができずにいたら、アキコが「どうしてすぐに返事してくれないの?」と怒ってしまいました。

今使っている無料のチャットアプリは、相手がメッセージを読んだかがわかるようになっていて便利なんだけど、こんな時は困ってしまいます。その後もアキコとのチャットは続き、今はもう夜中の2時です。宿題もまだ終わってないし、明日も部活の朝練で7時には家を出なければいけません。でもアキコに嫌われたくないし、どうしたらいいでしょう。

○友だちとのメールやチャットのやり取りで、気をつけなければならない点を考えましょう。

【事例3】

この間、同じクラスのケンジがブログに僕の悪口を書きこんだ。僕はケンジのブログを読めないけど、同じ部活のユウタが見つめて転送してくれた。腹が立って投稿サイトに、「こいつは万引き犯です。」とコメントをつけてケンジの写真をアップした。もちろん嘘だけど、けっこうたくさんの反応があって「こいつ知ってる。〇〇中やろ。」とか「警察に通報してやれ。」などのコメントがあがってきた。

それからケンジは学校でもみんなにひそひそと噂をされたり、無視されるようになった。そして、しばらくしてケンジは学校に来なくなった。

自業自得だと思っていたら、ある日ユウタから、「あの悪口の書き込み、本当はケンジじゃないねん。あの時ケンジとケンカしてて、腹が立ったからつい…」というメールが来た。びっくりしてすぐに写真やコメントは削除したけど、もう他のサイトに写真が広まってるらしい。誰が写真をアップしたのかは警察が調べればすぐわかると聞いたことがある。

僕はもうすぐ捕まってしまうのかなあ。



○僕やユウタの行動についてどう思いますか。

○インターネットを便利な道具として、みんなが気持ちよく利用するために必要なことを考えましょう。



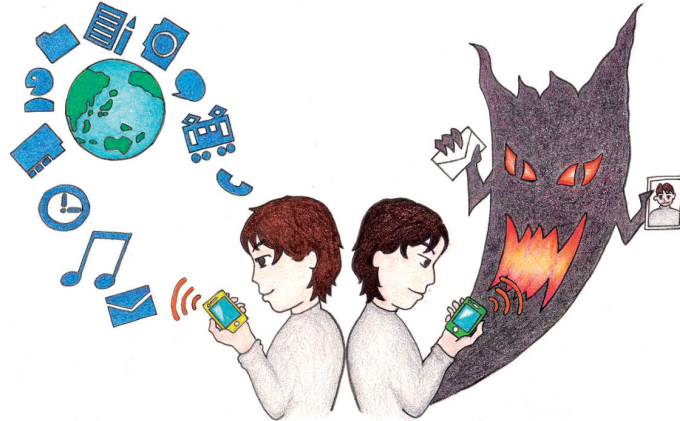
ケータイ・スマホ…あなたは大丈夫？

だいじょうぶ



今や私たちの生活にとって身近な存在であるインターネット。携帯電話やスマートフォンだけではなく、パソコンやテレビ、ミュージックプレーヤー、携帯ゲーム機などからも簡単にアクセスでき、自分の知りたいことや見たいものがすぐに調べられたり、欲しいものをボタン一つで買うこともできます。また、人と人の心をつないでくれることもあります。

しかし、インターネットは使い方を誤ると、その人の人生を大きく狂わせてしまう危険性も潜んでいます。インターネットをどう活用すればよいのかを考えてみましょう。



◎次の事例からインターネットの活用について考えてみましょう。

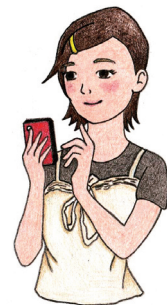
【事例1】

今朝、お母さんとケンカをしてしまいました。部活の試合が近いので練習は大変だし、学級委員として、来週の合唱コンクールに向けてクラスをまとめていかなければならない。そんな忙しい時に、勉強、勉強とうるさいから、ついカッとなって、「お母さんは何もわかってない。」と怒鳴ってそのまま学校へ行ってしまいました。朝からイライラしていたので、部活の朝練習にも身が入らず、教室でもぼーっとしていました。

家に帰ってからも何も手に付かずゴロゴロしていたら、同じクラスのサオリから、「今日、様子がおかしかったけど大丈夫？一人で悩まないで。私はいつでも側にいるよ。」というメールが来たんです。何か肩の力が抜けて、ホッとした気持ちになりました。私のことをちゃんと見てくれている人がいたんだと思って、元気が出ました。

今も病院で仕事をしているお母さん。夜勤明けで疲れていても必ずお弁当を作ってくれます。あんなことを言ってしまうと本当に後悔しています。

少しでも早く気持ちを伝えたいから、メールを試してみようかなあ。



○メールはどんな時に役に立ちますか。

○もらってうれしいメールとはどんなメールですか。